今日のトピック 米国大統領選挙年に強い米国小型株

S＆P500種指数のリターンを上回る米国小型株

ポイント1 いよいよ始まった米国大統領選挙年

■ 2024年11月5日に米国で大統領・議会選挙が行われます。いよいよ選挙イヤーが始まりました。

1月15日共和党第1戦はトランプ前大統領の勝利

■ 共和党の第1戦となった1月15日のアイオワ州党員集会では、事前予想以上にトランプ前大統領（以下トランプ氏）が圧勝し、その強さを内外に見せつけました。

1月23日共和党第2戦もトランプ氏の勝利

■ 1月23日はニューハンプシャー州で共和党と民主党の両党で予備選挙が行われました。共和党陣営では第2戦となりました。第1戦後に、デサンティス・フロリダ州知事やラマスワミ氏が撤退を表明したことから、対立候補者はヘイリー元国連大使（以下ヘイリー氏）のみ、となりました。得票率は、トランプ氏が54.1%、ヘイリー氏が43.8%と、トランプ氏の勝利でした。2月8日のネバダ州に続き、24日に行われるヘイリー氏自身が州知事を務めたサウスカロライナ州予備選挙での挽回が必要となり、3月5日のスーパーチューズデーを待たずして共和党の予備選挙は事実上、終了してしまう可能性もあるとみられます。

1月23日民主党第1戦はバイデン大統領の勝利

■ 一方、民主党は、バイデン大統領が再選を目指すと表明しており、また、有力な対立候補者がいない状況での予備選挙となりました。ニューハンプシャー州の予備選挙では、バイデン大統領が67.4%の得票を得ており、勝利を収めました。

【図表1：2024年大統領選挙（予備選挙・党員集会）】

	州名	民主党	共和党
1月15日	アイオワ		党員集会
1月23日	ニューハンプシャー	予備選挙	予備選挙
2月3日	サウスカロライナ	予備選挙	
2月6日	ネバダ	予備選挙	
2月8日	ネバダ		党員集会
2月24日	サウスカロライナ		予備選挙
2月27日	ミシガン	予備選挙	予備選挙
3月5日	**スーパーチューズデー（予備選挙集中日）**		

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：2024年大統領選挙の主なスケジュール】

2024年	
1月15日	共和党党員集会がアイオワ州からスタート
1月23日	民主党予備選挙がニューハンプシャー州からスタート
3月5日	スーパーチューズデー
7月15日	共和党全国大会（～18日、ウィスコンシン州）
8月19日	民主党全国大会（～22日、イリノイ州）
9月16日	大統領候補者討論会①
10月1日	大統領候補者討論会②
10月9日	大統領候補者討論会③
11月5日	**大統領選挙（一般投票）**
12月16日	選挙人投票
2025年	
1月6日	次期大統領、次期副大統領の正式決定
1月20日	**大統領就任式**
4月前後	施政方針演説（一般教書）

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

ポイント2 米国大統領選挙年に強い米国小型株

■ 大統領選挙年は経済政策が重要なテーマの1つとなります。2016年の大統領選挙ではトランプ氏が法人税率やキャピタルゲイン税率の引き下げなどの大型減税、雇用創出のためのインフラ投資の強化、財政再建などを主張しました。一連の経済対策は米国の競争力を取り戻すものとして、株式市場では好感されました。

■ 2020年の大統領選挙ではトランプ氏（当時大統領）は引き続き減税を主張、一方のバイデン氏は増税を主張しました。また、産業政策ではトランプ氏がエネルギー業界や銀行業界の規制緩和を主張したのに対して、バイデン氏は同業界の規制強化を主張しました。米国株式市場はこうした政策の違いに一喜一憂することになりました。

■ 経済政策が注目される大統領選挙ですが、1980年以降11回の大統領選挙を調べると、米国小型株のリターンは平均で＋9.8%、勝率は73%です。また、82%の勝率でS&P500種指数を上回りました。両党が打ち出す経済政策は、内需企業が多く、景気動向に敏感な小型株に有利に作用することが多いようです。

【図表3：大統領選挙が実施された年の騰落率】

大統領	所属政党	大統領選挙日	米国小型株 ①	S&P500 ②	米国小型株－S&P500 ①－②	米国小型株がS&P500を上回った年
レーガンⅠ期	共和	1980年11月4日	33.8%	25.8%	8.0%	○
レーガンⅡ期	共和	1984年11月6日	▲9.6%	1.4%	▲11.0%	×
ブッシュ（父）	共和	1988年11月8日	22.4%	12.4%	10.0%	○
クリントンⅠ期	民主	1992年11月3日	16.5%	4.5%	12.1%	○
クリントンⅡ期	民主	1996年11月5日	14.8%	20.3%	▲5.5%	×
ブッシュⅠ期	共和	2000年11月7日	▲4.3%	▲10.1%	5.8%	○
ブッシュⅡ期	共和	2004年11月2日	17.0%	9.0%	8.0%	○
オバマⅠ期	民主	2008年11月4日	▲34.8%	▲38.5%	3.7%	○
オバマⅡ期	民主	2012年11月6日	14.6%	13.4%	1.2%	○
トランプ	共和	2016年11月8日	19.5%	9.5%	9.9%	○
バイデン	民主	2020年11月3日	18.4%	16.3%	2.1%	○
平均			9.8%	5.8%	4.0%	
中央値			16.5%	9.5%	5.8%	
勝率			73%	82%	82%	

（注）データは1979年末～2020年末。騰落率は大統領選挙年の前年末と当年末で計算。米国小型株はラッセル2000。
（出所）Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフストラテジスト
石山仁（いしやま ひとし）

ここもチェック！
2023年11月30日 あなたの知らない「グローバル小型成長株の世界」
2023年 9月15日 米国株式市場のアノマリーを確認

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。